

# 事務事業評価（確認書）

1 頁  
平成30年 8月22日  
11時01分18秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002010000	企画財政室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00065	行政評価実施事業				
章	08	基本計画推進のために				
節	04	計画的な行財政運営の推進				
細節	00					
予算事業	10055	01	02	01	05 03 01 01	行政評価実施事業（企画費）
所属長	山下 栄治	担当者（内線）小柏（2138）				
根拠法令等	吹田市行政評価実施要領、吹田市行政評価委員会設置要領					
事業開始年度	平成14年度	直近の改正	平成28年度			
改正内容	行政評価の客観性及び透明性を確保するため、公募で選出した市民委員が行政評価委員会に参画できることとした。					
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）					

## <事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他	
対象	市が実施する施策・事務事業	
目標	課題等も含めた今後の方向性が明確に示される。	
結果	効果的かつ効率的な行政運営が行われ、市民サービスの最適化が図られる。	
事業概要	<p>行政評価は、前年度に行った市の事業を振り返って分析・評価し、翌年度の事業計画に反映させようとするもの。次の流れで取り組む。</p> <p>①担当所管による1次評価 ②行政評価委員会による2次評価（一部）</p> <p>行政評価には市全体で取り組むが、本事業では、次の事項を実施している。</p> <p>1 行政評価の取組方法の決定 評価対象事業の選別や、評価項目の設定などを行う。</p> <p>2 2次評価の実施 1次評価を行った事業の中から対象事業を選び、副市長が加わる行政評価委員会において、2次評価を行う。</p>	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①
		委託先②
		委託先③
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容
交付先①		
交付先②		
<input type="checkbox"/> その他	内容	

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	205	162	205	128	1,297
人件費職員数(人)	2.30	2.30	2.30	2.30	2.30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	18,791	18,170	18,520	17,993	18,274
総事業費(A+B)	18,996	18,332	18,725	18,121	19,571
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	18,996	18,332	18,725	18,121	19,571
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	18,996	18,332	18,725	18,121	19,571
財源計(C+D)	18,996	18,332	18,725	18,121	19,571

所属	企画財政室
事務事業番号	00065

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	担当所管が設定した指標を元に、前年度に実施した事務事業を客観的に評価する。	目標	施策や事業の改善・見直しにつながるような分析・評価を行う。
成果内容	事務事業の整理統合や事務改善などの効率化を図るとともに、事業の優先順位を検証し、真に必要な市民サービスを持続的に提供する。	達成状況	効果的かつ効率的な行政運営に寄与する。

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由: 評価結果の客観性を高めるために、2次評価において学識経験者等の意見を参考にしており、それに伴う費用がほとんどであるため)</p> <p>【今後の方向性】 毎年度、見直しや方向性の検討が必要な事務事業の2次評価を行っており、事業費等も適正であるため、事務事業評価調査の分かりやすさ向上のための改善を行いつつ、継続することが妥当である。 具体的には、指標設定の適正化など、より効果的な分析・評価を行うための取組とともに、行政評価結果の実施計画への反映や新公会計制度との連携に向けた検討を進める必要がある。</p>		

## 事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	行政評価実施事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00065				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
内部管理	点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

行政評価の客観性及び透明性を確保するため、学識経験者、有識者及び公募で選出された市民が一同に会して議論を行う行政評価委員会を開催し、専門的な見地や多角的な視点からの意見や助言をいただき、それらを踏まえた評価を実施している。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 本事業は、目標及び成果を指標として表すことは難しいが、市が実施するすべての事業の優先順位付けを行うための基本となるものであり、PDCAマネジメントサイクルの確立に必要な事業であることから、その重要度は大変高いものである。</p> <p>(3)効率性 行政評価結果を実施計画の策定や職員定数管理に活用できる仕組みを作るため、関係所管と協議を進めており、他の事業との連携を図っていることから、効率性が高いと評価した。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 8月14日  
10時10分05秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002010000	企画財政室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00066	財政事務事業							
章	08	基本計画推進のために							
節	04	計画的な行財政運営の推進							
細節	00								
予算事業	10028	01	02	01	01	11	01	01	財政事務事業（一般管理費）
所属長	山下 栄治				担当者（内線） 關 尚子（2157）				
根拠法令等	地方財政法、地方自治法、吹田市財務規則								
事業開始年度	不明	直近の改正		無					
改正内容	無								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他			
対象	吹田市財政			
目標	将来世代に過度な負担を残すことなく、健全で持続可能な財政運営を図る。			
結果	必要な施策を継続するとともに、新たな課題にも対応することができる。			
事業概要	市の各種施策を実施するための予算措置を行い、予算が適正に執行されているかどうかを管理するとともに、地方交付税に関する事務等、吹田市の財政全般に関する事務を行う。			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施			
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①		
		委託先②		
		委託先③		
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容		
		交付先①		
交付先②				
<input type="checkbox"/> その他	内容			

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	4,445	3,315	4,503	3,566	4,037
人件費職員数(人)	13.80	13.91	12.50	12.50	13.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	112,746	109,889	100,650	97,788	103,285
総事業費(A+B)	117,191	113,204	105,153	101,354	107,322
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	117,191	113,204	105,153	101,354	107,322
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	117,191	113,204	105,153	101,354	107,322
財源計(C+D)	117,191	113,204	105,153	101,354	107,322

所属	企画財政室
事務事業番号	00066

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	一般会計 - 特別会計当初予算額	千円	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	211,478,978.00	205,237,406.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	経常収支比率	%	目標値	95.00	95.00	0.00
			実績値	95.60	95.00	
			達成度(%)	100.60	100.00	
目標値の積算方法	「第2期財政健全化計画(案)前期計画」の考え方を引継ぎ95%とする。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,184.14	1,066.88	
			一般財源(千円)	1,184.14	1,066.88	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適正と考える。</p> <p>【指標数値の評価】 成果指標については、平成28年度の達成度が100.6%と表示されているが、実際の達成度については目標値を実績値で除した数値である99.4%となり、目標には達していない。平成29年度の達成度は100.0%の表示で、目標値と実績値が同数値のため実際の達成度である目標値を実績値で除した数値も100.0%となり目標を達成している。</p> <p>【今後の方向性】 厳しい財政状況が続くなか、国・府補助金の獲得など、歳入の確保に努めるとともに、各種施策に係る事業費を精査し、効果的な財源配分を行う必要がある。</p>

事務事業分析シート

2018/6/514:19

所属名	企画財政室	事業名	財政事務事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00066				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
③適正な受益者負担を求めていますか。			
内部管理	点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
内部管理	点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	企画財政室	事務事業番号	00066
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(5)持続可能性                      超高齢化社会への対応、公共施設の老朽化に伴う更新や健康・医療のまちづくりに係る取組が控えるなか、施策・予算の精査を今後も継続して行っていく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 8月14日  
09時47分12秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002010000	企画財政室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00067	交通災害・火災等共済特別会計繰出事業							
章	08	基本計画推進のために							
節	04	計画的な行財政運営の推進							
細節	00								
予算事業	10081	01	02	01	12	01	01	01	交通災害・火災等共済特別会計繰出事業（交通災害・火災等共済特
所属長	山下 栄治				担当者（内線）福本 幸子（内線2157）				
根拠法令等	吹田市交通災害・火災等共済条例								
事業開始年度	昭和47年度	直近の改正	無						
改正内容	無								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	交通災害・火災等共済特別会計		
目標	交通災害・火災等共済への加入に係る市負担分について繰出しを行う。		
結果	交通災害・火災等特別会計の財政基盤の安定を図り、交通災害・火災等共済制度の健全運営につながる。		
事業概要	吹田市交通災害共済への中学生以下及び生活保護受給者の加入に係る市負担分及び吹田市火災共済への生活保護受給世帯の加入に係る市負担分について一般会計から交通災害・火災等共済特別会計に繰出しを行う。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	4,314	3,761	4,128	3,611	4,110
人件費職員数(人)	0.11	0.11	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	899	869	806	783	795
総事業費(A+B)	5,213	4,630	4,934	4,394	4,905
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	5,213	4,630	4,934	4,394	4,905
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	5,213	4,630	4,934	4,394	4,905
財源計(C+D)	5,213	4,630	4,934	4,394	4,905

所属	企画財政室
事務事業番号	00067

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	繰出金額	千円	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	3,761.00	3,611.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.23	1.22	
			一般財源(千円)	1.23	1.22	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	交通災害・火災等共済特別会計実質収支額	千円	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	8,880.00	7,862.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.52	0.56	
			一般財源(千円)	0.52	0.56	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は概ね適切である。(理由：共済加入者が減少してきているので削減する余地があるため。)</p> <p>【今後の方向性】 交通災害共済への中学生以下及び生活保護受給者の加入にかかる減額免除分及び火災等共済への生活保護受給世帯の加入にかかる1口分の加入金については、吹田市交通災害・火災等共済条例において市の負担となっており、これに基づき繰出しを行っていくが、繰出金額については適正な金額となるよう、担当課と協議を行っていく。(共済加入率の低下に歯止めがかからないため、方向性の検討が必要である。)</p>

## 事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	交通災害・火災等共済特別会計繰出事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00067				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【ブルダウメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 交通災害共済への中学生以下及び生活保護受給者の加入にかかる減額免除分及び火災等共済への生活保護受給世帯の加入にかかる1口分の加入金については、吹田市交通災害・火災等共済条例において市が負担することになっており、交通災害・火災等共済制度の財政基盤の安定を図り、健全に運営していくためにも繰出しが必要。ただし、加入率の低下に歯止めがかからないため、方向性の検討が必要である。</p> <p>(5)持続可能性 繰出金額が過大とならないように事業費について担当課と協議を行っていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 5日  
14時24分45秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002010000	企画財政室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00068	財政調整基金積立事業							
章	08	基本計画推進のために							
節	04	計画的な行財政運営の推進							
細節	00								
予算事業	10140	01	02	01	22	01	01	01	財政調整基金積立事業（財政調整基金積立金）
所属長	山下 栄治	担当者（内線）關 尚子（2157）							
根拠法令等	地方財政法、地方自治法、吹田市財政調整基金条例								
事業開始年度	平成元年	直近の改正		無					
改正内容	無								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	財政調整基金		
目標	経済事情の変動等による財源不足に備えて基金を積み立てる。		
結果	年度間の財源の不均衡を調整することで安定した財政運営を行うことができる。		
事業概要	年度間の財源の不均衡を調整するために一般財源の剰余金等を基金に積み立てる。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容		
	交付先①		
	交付先②		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	139	84,108	164	262,680	17
人件費職員数(人)	0.11	0.11	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	899	869	806	806	795
総事業費(A+B)	1,038	84,977	970	263,486	812
特定財源(C)	139	227	164	37	17
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	139	227	164	37	17
市負担(D)	899	84,750	806	263,449	795
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	899	84,750	806	263,449	795
財源計(C+D)	1,038	84,977	970	263,486	812

所属	企画財政室
事務事業番号	00068

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	財政調整基金積立額	千円	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	84,108.00	262,680.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.01	1.00	
			一般財源(千円)	1.01	1.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	財政調整基金残高	千円	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	10,628,094.00	10,890,774.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.01	0.02	
			一般財源(千円)	0.01	0.02	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等・指標数値の評価】 地方財政法により、一般会計の剰余金の2分の1以上を基金として積立てなければならないと規定されており、それによって事業費を計上しているため事業費及び積立額である指標数値は適正である。</p> <p>【今後の方向性】 経済情勢の悪化などによる財源不足に備えるためにも、積立を今後も継続して行っていく。</p>

## 事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	財政調整積立基金事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00068				

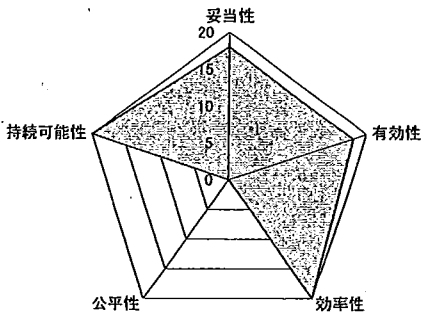
## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
内部管理	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
内部管理	点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	95	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	企画財政室	事務事業番号	00068
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 地方財政法により、一般会計の剰余金の2分の1以上を基金として積み立てなければならないと規定されている。</p> <p>(5)持続可能性 経済情勢の悪化などによる財源不足に備えるためにも、積立を今後も継続して行っていく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 8月 8日  
09時12分56秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002010000	企画財政室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00069	介護保険特別会計繰出事業							
章	08	基本計画推進のために							
節	04	計画的な行財政運営の推進							
細節	00								
予算事業	10327	01	03	01	12	01	01	01	介護保険特別会計繰出事業（介護保険特別会計繰出金）
所属長	山下 栄治				担当者（内線）大塚 猛志（2155）				
根拠法令等	介護保険法								
事業開始年度	平成12年度	直近の改正	平成27年度						
改正内容	地域包括ケアシステムの構築と費用負担の公平化をめざす考え方を踏まえた法律の一部改正								
市単独事業区分	○ 全部 ● 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり） 介護保険事業に従事する職員人件費及び事務費等に対する繰出し								

## <事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他			
対象	介護保険特別会計			
目標	介護給付費及び地域支援事業費に係る市負担金及び事業費等について一般会計から繰出しを行う。			
結果	介護保険特別会計の財政基盤の安定を図り、介護保険制度を健全に運営することができる。			
事業概要	介護給付費及び地域支援事業費に係る市負担金及び事務費等について、介護保険事業の財政基盤の安定を図るために一般会計から介護保険特別会計へ繰出しを行う。			
実施方法	■ 直接実施			
	□ 委託又は一部委託	委託先①		
		委託先②		
		委託先③		
			主な委託内容	
	□ 補助金・負担金	交付先①		
交付先②				
交付先③				
□ その他	内容			

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	3,649,308	3,388,820	3,835,026	3,642,421	4,034,673
人件費職員数(人)	0.11	0.11	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	899	869	806	783	795
総事業費(A+B)	3,650,207	3,389,689	3,835,832	3,643,204	4,035,468
特定財源(C)	43,989	47,052	41,469	41,784	45,738
国	30,495	33,229	27,646	27,856	30,492
府	13,494	13,823	13,823	13,928	15,246
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	3,606,218	3,342,637	3,794,363	3,601,420	3,989,730
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	3,606,218	3,342,637	3,794,363	3,601,420	3,989,730
財源計(C+D)	3,650,207	3,389,689	3,835,832	3,643,204	4,035,468

所属	企画財政室
事務事業番号	00069

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	繰出金額	千円	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	3,388,820.00	3,642,421.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.00	1.00	
			一般財源(千円)	0.99	0.99	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	介護保険特別会計実質収支額	千円	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	585,943.00	623,579.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	5.79	5.84	
			一般財源(千円)	5.70	5.78	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:事業費総額は増加しているものの、対象者の増加に伴うものと考えられるため。)</p> <p>【今後の方向性】 介護給付費及び地域支援事業費に係る市負担金については、介護保険法に基づく繰出しであるため、また、事務費等についても介護保険特別会計の財政基盤の安定を図るため繰出しを行っていくが、繰出金額については適正な金額となるよう、担当課と協議を行っていく。</p>

## 事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	介護保険特別会計繰出事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00069				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
③適正な受益者負担を求めていますか。			
内部管理	点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
内部管理	点		
(5) 持続可能性 (20点)	10	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	企画財政室	事務事業番号	00069
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 介護給付費及び地方支援事業費に係る市負担金については、介護保険法に基づく繰出しであるため、また、事務費等についても介護保険制度の健全な運営のために繰出しを行う必要があると考えている。</p> <p>(5)持続可能性 繰出金額が過大とならないよう、事業費について担当課と協議を行っていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 8月14日  
19時16分37秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002010000	企画財政室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00070	後期高齢者医療特別会計繰出事業						
章	08	基本計画推進のために						
節	04	計画的な行財政運営の推進						
細節	00							
予算事業	10394	01	03	01	17	01	01	後期高齢者医療特別会計繰出事業（後期高齢者医療特別会計繰出金）
所属長	山下 栄治	担当者（内線）中村 暢之（2158）						
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律							
事業開始年度	平成20年度	直近の改正 無						
改正内容	無							
市単独事業区分	○ 全部 ● 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり） 後期高齢者医療事業に従事する職員人件費及び事務費等に対する繰出し							

## <事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他	
対象	後期高齢者特別会計	
目標	保険基盤安定負担金及び事務費等について一般財源から繰出しを行う。	
結果	後期高齢者医療特別会計の財政基盤の安定を図り、後期高齢者医療制度を健全に運営することができる。	
事業概要	保険基盤安定負担金及び事務費等について、被保険者の保険料負担を緩和するとともに後期高齢者医療事業の財政基盤の安定を図るために一般会計から後期高齢者医療特別会計へ繰出しを行う。	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①
		委託先②
		委託先③
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容
交付先①		
交付先②		
<input type="checkbox"/> その他	内容	

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	879,829	816,269	864,208	843,066	904,617
人件費職員数(人)	0.11	0.11	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	899	869	806	783	795
総事業費(A+B)	880,728	817,138	865,014	843,849	905,412
特定財源(C)	531,925	502,128	534,147	533,484	566,719
国	1,423	0	0	0	0
府	530,502	502,128	534,147	533,484	566,719
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	348,803	315,010	330,867	310,365	338,693
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	348,803	315,010	330,867	310,365	338,693
財源計(C+D)	880,728	817,138	865,014	843,849	905,412

所属	企画財政室
事務事業番号	00070

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	繰出金額	千円	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	816,269.00	843,066.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.00	1.00	
			一般財源(千円)	0.39	0.37	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	後期高齢者医療特別会計実質収支額	千円	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	125,848.00	137,759.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	6.49	6.13	
			一般財源(千円)	2.50	2.25	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由: 事業費総額は増加しているものの、対象者の増加に伴うものと考えられるため。)</p> <p>【今後の方向性】 保険基盤安定負担金については、高齢者の医療の確保に関する法律による繰出しであるため、また、事務費等についても後期高齢者医療制度の健全な運営のため繰出しを行っていくが、繰出金額については適正な金額となるよう、担当課と協議を行っていく。</p>

## 事務事業分析シート

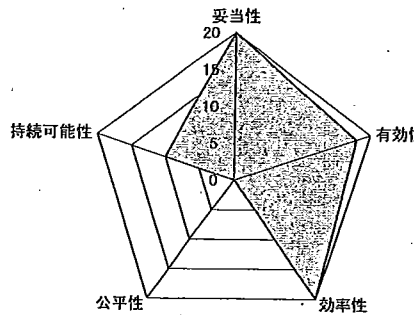
所属名	企画財政室	事業名	後期高齢者医療特別会計繰出事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00070				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
(5) 持続可能性 (20点)	10	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 保険基盤安定負担金については、高齢者の医療の確保に関する法律による繰出しであるため、また、事務費等についても後期高齢者医療制度の健全な運営のため繰出しを行っていく。</p> <p>(5)持続可能性 繰出金額については適正な金額となるよう、担当課と協議を行っていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 8月14日  
19時15分54秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002010000	企画財政室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00071	国民健康保険特別会計繰出事業				
章	08	基本計画推進のために				
節	04	計画的な行財政運営の推進				
細節	00					
予算事業	10479	01	03	06	01   01   01   01	国民健康保険特別会計繰出事業（国民健康保険特別会計繰出金）
所属長	山下 栄治				担当者（内線）中村 暢之（2158）	
根拠法令等	国民健康保険法					
事業開始年度	昭和39年度	直近の改正	無			
改正内容	無					
市単独事業区分	○ 全部 ● 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり） 国民健康保険特別会計の赤字解消分及び保険料の減免・給付事業のうち市の基準に基づくものに対する繰出し。					

## <事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他	
対象	国民健康保険特別会計	
目標	保険基盤安定負担金及び保険料減免分並びに事務費等について一般会計から繰出しを行う。	
結果	国民健康保険特別会計の財政基盤の安定を図り、国民健康保険制度を健全に運営することができる。	
事業概要	保険基盤安定負担金及び保険料の減免分並びに事務費等について、被保険者の保険料負担を緩和するとともに累積赤字を解消して国民健康保険制度の財政基盤の安定を図るために一般会計から国民健康保険特別会計へ繰出しを行う。	
実施方法	■ 直接実施	
	□ 委託又は一部委託	委託先①
		委託先②
		委託先③
	主な委託内容	
□ 補助金・負担金	交付先①	
	交付先②	
	交付先③	
□ その他	内容	

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	3,995,451	3,751,452	3,786,596	3,579,007	3,362,118
人件費職員数(人)	0.11	0.11	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	899	869	806	783	795
総事業費(A+B)	3,996,350	3,752,321	3,787,402	3,579,790	3,362,913
特定財源(C)	1,618,282	1,669,421	1,641,750	1,696,012	1,602,000
国	372,032	386,979	371,500	388,090	364,000
府	1,246,250	1,282,442	1,270,250	1,307,922	1,238,000
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	2,378,068	2,082,900	2,145,652	1,883,778	1,760,913
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,378,068	2,082,900	2,145,652	1,883,778	1,760,913
財源計(C+D)	3,996,350	3,752,321	3,787,402	3,579,790	3,362,913

所属	企画財政室
事務事業番号	00071

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	繰出金額	千円	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	3,751,452.00	3,579,007.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.00	1.00	
			一般財源(千円)	0.56	0.53	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	国民健康保険特別会計実質収支額	千円	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	-2,362,100.00	-1,217,564.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	-1.59	-2.94	
			一般財源(千円)	-0.88	-1.55	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	達成状況

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は概ね適切である。(理由:対象者の減少に伴い、事業費総額も減少しているため。)</p> <p>【今後の方向性】 保険基盤安定負担金及び保険料の減免分、事務費等については、被保険者の保険料負担の緩和、累積赤字の解消及び国民健康保険制度の財政基盤の安定を図るため繰出しを行っていくが、繰出金額については適正な金額となるよう、担当課と協議を行っていく。</p>

## 事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	国民健康保険特別会計繰出事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00071				

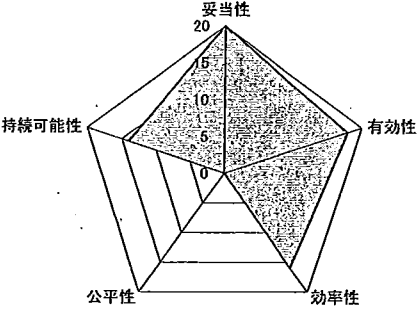
## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	企画財政室	事務事業番号	00071
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 保険基盤安定負担金及び保険料の減免分、事務費等については、被保険者の保険料負担の緩和、累積赤字の解消及び国民健康保険制度の財政基盤の安定を図るため繰出しを行っていく。</p> <p>(5)持続可能性 繰出金額については適正な金額となるよう、担当課と協議を行っていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

今後、平成30年度からの国民健康保険広域化による影響について分析する必要がある。

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 8月14日  
10時06分42秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002010000	企画財政室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00072	勤労者福祉共済特別会計繰出事業							
章	08	基本計画推進のために							
節	04	計画的な行財政運営の推進							
細節	00								
予算事業	10619	01	05	01	03	01	01	01	勤労者福祉共済特別会計繰出事業（勤労者福祉共済特別会計繰出金
所属長	山下 栄治				担当者（内線） 中川 斐貴（2158）				
根拠法令等	吹田市勤労者福祉共済基金条例								
事業開始年度	昭和49年度	直近の改正		無					
改正内容	無								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	勤労者福祉共済特別会計		
目標	勤労者福祉共済事業に係る人件費について、一般会計から繰出しを行う。		
結果	勤労者福祉共済制度を健全に運営することができる。		
事業概要	勤労者福祉共済制度の健全な運営のため、勤労者福祉共済事業に係る人件費について一般会計から勤労者福祉共済特別会計に繰出しを行う。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
	□ 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
□ その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	9,333	5,888	8,734	5,843	7,340
人件費職員数(人)	0.11	0.11	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	899	869	806	783	795
総事業費(A+B)	10,232	6,757	9,540	6,626	8,135
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	10,232	6,757	9,540	6,626	8,135
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	10,232	6,757	9,540	6,626	8,135
財源計(C+D)	10,232	6,757	9,540	6,626	8,135

所属	企画財政室
事務事業番号	00072

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	繰出金額	千円	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	5,888.00	5,843.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.15	1.13	
			一般財源(千円)	1.15	1.13	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	-0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	勤労者福祉共済特別会計実質収支額	千円	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	19,169.00	1,944.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.35	3.41	
			一般財源(千円)	0.35	3.41	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	-0.00	-0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費等は適切である。(理由:事業費が減少してしていることから、平成29年度当初予算額を前年度より減少させたことは妥当であると考えられるため。)</p> <p>【今後の方向性】 勤労者福祉共済制度の健全な運営のためには、引き続き一般会計からの繰出しが必要であるが、繰出し金額が過大とならないように担当課と協議を行っていく必要がある。</p>

## 事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	勤労者福祉共済特別会計繰出金	事業区分	内部管理
事務事業番号	00072				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	72	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1) 妥当性 勤労者福祉共済特別会計に対して繰出しを行い、勤労者福祉共済制度に係る業務に従事する職員の人件費に対して充当を行っている。人件費については、勤労者福祉共済掛金を充当すべきではないため、人件費相当分を一般会計から繰出すことは妥当である。</p> <p>(3) 効率性 勤労者福祉共済制度に係る業務に従事する職員は1人であるが、勤労者福祉共済制度の加入者は年々減少の傾向にあるため、有効度としては年々低下してきていると考えられる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

繰出し金額が適正となるよう担当課と協議を行った上で、今後も繰出しを行っていく。



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 8月 8日  
11時33分02秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002010000	企画財政室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00075	元金償還事業							
章	08	基本計画推進のために							
節	04	計画的な行財政運営の推進							
細節	00								
予算事業	11057	01	11	01	01	01	01	01	元金償還事業（元金）
所属長	山下 栄治		担当者（内線）達脇 俊介（2156）						
根拠法令等	吹田市市債条例								
事業開始年度	不明	直近の改正	無						
改正内容	無								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	市債		
目標	計画的に償還し、市債の新規発行を抑制することにより市債総額を減少させる。		
結果	市債総額が減少することによって将来世代への負担を軽減することができる。		
事業概要	公共施設の建設等に係る費用について世代間の負担を公平にするために発行する建設事業債及び地方税の減税・減収に伴う財源不足を補填するために発行する赤字地方債の元金について、償還計画に基づいて償還する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
			主な委託内容
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	4,855,296	4,866,997	4,752,814	4,759,046	4,775,976
人件費職員数(人)	0.55	0.55	0.20	0.20	0.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	4,494	4,345	1,611	1,565	1,589
総事業費(A+B)	4,859,790	4,871,342	4,754,425	4,760,611	4,777,565
特定財源(C)	608	516	538	538	190
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	608	516	538	538	190
市負担(D)	4,859,182	4,870,826	4,753,887	4,760,073	4,777,375
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,859,182	4,870,826	4,753,887	4,760,073	4,777,375
財源計(C+D)	4,859,790	4,871,342	4,754,425	4,760,611	4,777,565

所属	企画財政室
事務事業番号	00075

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	一般会計債残高	千円	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	46,678,609.00	47,907,063.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.10	0.10	
			一般財源(千円)	0.10	0.10	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	公債費負担比率	%	目標値	10.00	10.00	0.00
			実績値	6.80	6.30	
			達成度(%)	68.00	63.00	
目標値の積算方法	第2期財政健全化計画(案)前期計画の目標として掲げられていた10%を目標値に設定した。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	716,373.82	755,652.54	
			一般財源(千円)	716,297.94	755,567.14	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。</p> <p>【指標数値の評価】 成果指標については、達成度が平成29年度は63.00%と表示されているが、実際の達成度については目標値を実績値で除した数値である158.73%となり、目標を上回っている。</p> <p>【今後の方向性】 既発行債については順次償還していく必要があるため、本事業は今後も継続して行っていく。</p>

## 事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	元金償還事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00075				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点	
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点	
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点	
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点	
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点	
(5) 持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		内部管理	点	
		②サービスの水準は適正ですか。		
		内部管理	点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		内部管理	点	
(5) 持続可能性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		内部管理	点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点	
評価点合計 (100点満点)	90	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点	
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	企画財政室	事務事業番号	00075
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 既発行債については順次償還していく必要がある。</p> <p>(3)効率性 市債については、将来世代への負担の先送りをしないため、赤字地方債の発行を抑制している。成果指標にしている公債費負担比率は、平成28年度で6.8%となっており、目標である10.0%を達成している状況である。平成29年度も同様の水準を維持する見込みであり、同比率は北摂各市と比較しても低い水準である。</p> <p>(5)持続可能性 今後も市債の適切な発行管理に努める必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 8月 8日  
11時36分10秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002010000	企画財政室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00076	長期債利子償還事業							
章	08	基本計画推進のために							
節	04	計画的な行財政運営の推進							
細節	00								
予算事業	11058	01	11	01	02	01	01	01	長期債利子償還事業（利子）
所属長	山下 栄治				担当者（内線）達脇 俊介（2156）				
根拠法令等	吹田市市債条例								
事業開始年度	不明	直近の改正		無					
改正内容	無								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	市債		
目標	計画的に償還し、市債の新規発行を抑制することにより市債総額を減少させる。		
結果	市債総額が減少することによって将来世代への負担を軽減することができる。		
事業概要	公共施設の建設等に係る費用について世代間の負担を公平にするために発行する建設事業債及び地方税の減税・減収に伴う財源不足を補填するために発行する赤字地方債の利子について、償還計画に基づいて償還する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
			主な委託内容
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	559,636	467,318	492,023	404,860	480,440
人件費職員数(人)	0.22	0.22	0.20	0.20	0.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	1,798	1,738	1,611	1,565	1,589
総事業費(A+B)	561,434	469,056	493,634	406,425	482,029
特定財源(C)	600	595	627	627	686
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	600	595	627	627	686
市負担(D)	560,834	468,461	493,007	405,798	481,343
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	560,834	468,461	493,007	405,798	481,343
財源計(C+D)	561,434	469,056	493,634	406,425	482,029

所属	企画財政室
事務事業番号	00076

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	一般会計債残高	千円	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	46,678,609.00	47,907,063.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	目標の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.01	0.01	
			一般財源(千円)	0.01	0.01	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	公債費負担比率	%	目標値	10.00	10.00	0.00
			実績値	6.80	6.30	
			達成度(%)	68.00	63.00	
目標値の積算方法	第2期財政健全化計画(案)前期計画の目標として掲げられていた10%を目標値に設定した。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	68,978.82	64,511.90	
			一般財源(千円)	68,891.32	64,412.38	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	達成状況

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。</p> <p>【指標数値の評価】 成果指標については、達成度が平成29年度は63.00%と表示されているが、実際の達成度については目標値を実績値で除した数値である158.73%となり、目標を上回っている。</p> <p>【今後の方向性】 既発行債については順次償還していく必要があるため、本事業は今後も継続して行っていく。</p>

## 事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	長期債利子償還事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00076				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	④利用業者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
評価点合計 (100点満点)	90	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	企画財政室	事務事業番号	00076
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 既発行債については順次償還していく必要がある。</p> <p>(3)効率性 市債については、将来世代への負担の先送りをしないため、赤字地方債の発行を抑制している。成果指標にしている公債費負担比率は、平成28年度で6.8%となっており、目標である10.0%を達成している状況である。平成29年度も同様の水準を維持する見込みであり、同比率は北摂各市と比較しても低い水準である。</p> <p>(5)持続可能性 今後も市債の適切な発行管理に努める必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 5日  
14時27分16秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002010000	企画財政室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00077	一時借入金利子償還事業							
章	08	基本計画推進のために							
節	04	計画的な行財政運営の推進							
細節	00								
予算事業	11059	01	11	01	02	01	01	02	一時借入金利子償還事業（利子）
所属長	山下 栄治			担当者（内線）	關 尚子（2157）				
根拠法令等	吹田市市債条例								
事業開始年度	不明	直近の改正	無						
改正内容	無								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	一般会計		
目標	一般会計の支払資金に一時的に不足が生じた際、基金や金融機関等から資金を借入れ、支払資金の不足を補う。		
結果	支払資金の不足を補うことにより各種事業に係る経費の支出を円滑に行うことができる。		
事業概要	歳入予算の収入の時期と歳出予算の支出の時期のずれにより、一般会計の支払資金に一時的に不足が生じる場合に基金や金融機関等から資金を借り入れ、その際に発生する利子を支払う。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	527	167	27	8	27
人件費職員数(人)	0.22	0.22	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,798	1,738	806	806	795
総事業費(A+B)	2,325	1,905	833	814	822
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	2,325	1,905	833	814	822
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,325	1,905	833	814	822
財源計(C+D)	2,325	1,905	833	814	822

所属	企画財政室
事務事業番号	00077

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	一時借入金累計額	千円	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	7,380,000.00	7,920,000.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	一時借入金金利子額	千円	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	146.00	8.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	13.05	101.75	
			一般財源(千円)	13.05	101.75	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	達成状況

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 利率は前年度の指定金融機関の12月現在の普通預金を元に決定しており、事業費は概ね適切である。</p> <p>【今後の方向性】 収入と支出の時期のずれによる支払資金の不足については、市の各種事業に係る経費の支出を遅滞なく行うためにも速やかに解消する必要があるため、基金や金融機関などからの一時的な資金の借り入れを今後も必要に応じて行っていく。</p>

## 事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	一時借入金利子償還事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00077				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
③適正な受益者負担を求めていますか。			
内部管理	点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	87	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性、(2)有効性          歳計現金の一時的な支払資金の不足については、歳入予算の収入の時期と歳出予算の支出の時期にずれがあるため、毎年ほぼ決まった時期に発生しており、資金の不足を補う必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 5日  
14時27分40秒 作成

評価年度	平成29年度	所属	0002010000	企画財政室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00078	公債費管理事業		
章	08	基本計画推進のために		
節	04	計画的な行財政運営の推進		
細節	00			
予算事業	11060	01	11	01 03 01 01 01 公債費管理事業（公債諸費）
所属長	山下 栄治		担当者（内線）遠脇 俊介（2156）	
根拠法令等	吹田市市債条例			
事業開始年度	不明	直近の改正	無	
改正内容	無			
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

## <事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	証券発行形式で起債された市債		
目標	証券の購入者、購入金額の把握など市債を適切に管理する。		
結果	市債の償還時に円滑に償還手続きが行うことができる。		
事業概要	証券発行方式で行った起債に係る証券の発行・管理に係る手数料を支払う。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
			主な委託内容
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	107	0	107	0	107
人件費職員数(人)	0.11	0.00	0.10	0.00	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	899	0	806	0	795
総事業費(A+B)	1,006	0	913	0	902
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	1,006	0	913	0	902
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,006	0	913	0	902
財源計(C+D)	1,006	0	913	0	902

所属	企画財政室
事務事業番号	00078

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	一般会計における起債額のうち市中銀行からの借入額	千円	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	4,146,700.00	1,035,200.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	証券発行方式での起債額	千円	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。</p> <p>【今後の方向性】 市債を起債する際には普通貸借方式での起債を行っているが、市場のニーズ、財政事情の変化などにより、証券発行方式で起債を行う可能性もあるため、証券発行方式での起債に備えて、今後も予算計上を行っていく。</p>

## 事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	公債費管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00078				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	8	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		c. 定量的な指標設定ができておらず、目標や達成状況の分析も十分できていない。(1点)	1点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
③適正な受益者負担を求めていますか。			
内部管理	点		
(5) 持続可能性 (20点)	14	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	67	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(5)持続可能性                      現在、市債の記載には政府や府、市中銀行などから直接借入を行う普通貸借方式での起債を行っているため、本事業での予算執行は行われていない。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 5日  
14時27分58秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002010000	企画財政室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00079	公共施設等整備積立基金事業							
章	08	基本計画推進のために							
節	04	計画的な行財政運営の推進							
細節	00								
予算事業	11061	01	12	02	01	01	01	01	公共施設等整備積立基金事業（公共施設等整備費積立金）
所属長	山下 栄治				担当者（内線）馬淵 翔子（2155）				
根拠法令等	吹田市積立基金条例								
事業開始年度	昭和52年	直近の改正		無					
改正内容	無								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	公共施設等整備基金		
目標	公共施設等の整備・最適化のために積み立てる。		
結果	経費の支出が整備事業の実施年度にのみ集中することを防止することで財政運営への影響を最小限に抑えることができる。		
事業概要	公共施設等を整備する際に必要となる経費を積み立てる。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
	□ 補助金・負担金	交付先①	
		交付先②	
交付先③			
□ その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	124,537	0	762,645	14
人件費職員数(人)	0.00	0.11	0.00	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	0	869	0	806	795
総事業費(A+B)	0	125,406	0	763,451	809
特定財源(C)	0	0	0	0	14
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	14
市負担(D)	0	125,406	0	763,451	795
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	125,406	0	763,451	795
財源計(C+D)	0	125,406	0	763,451	809

所属	企画財政室
事務事業番号	00079

<活動指標>

		(1) 活動指標①	単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	公共施設等整備基金積立額	千円		目標値	0.00	0.00	0.00
				実績値	124,537.00	762,645.00	
				達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.01	1.00		
			一般財源(千円)	1.01	1.00		
		(1) 活動指標②	単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容				目標値	0.00	0.00	0.00
				実績値	0.00	0.00	
				達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00		
			一般財源(千円)	0.00	0.00		

<成果指標>

		(2) 成果指標①	単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	公共施設等整備基金残高	千円		目標値	0.00	0.00	0.00
				実績値	878,013.00	940,658.00	
				達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.14	0.81		
			一般財源(千円)	0.14	0.81		
		(2) 成果指標②	単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容				目標値	0.00	0.00	0.00
				実績値	0.00	0.00	
				達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00		
			一般財源(千円)	0.00	0.00		

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適正であると考えます。</p> <p>【今後の方向性】 公共施設の整備に係る費用負担を複数年度に分散し、財政運営への影響を最小限に抑える必要があるため、今後も基金の積立を行っていく。</p>

## 事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	公共施設等整備積立基金事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00079				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
評価点合計 (100点満点)	92	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点

所属名	企画財政室	事務事業番号	00079
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(5)持続可能性 小・中学校校舎の大規模改造や公共施設の最適化による整備計画があり、今後の経費支出に備えて引き続き財源を確保する必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 5日  
14時28分24秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002010000	企画財政室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00080	予備費管理事業							
章	08	基本計画推進のために							
節	04	計画的な行財政運営の推進							
細節	00								
予算事業	11062	01	13	01	01	01	01	01	予備費管理事業（予備費）
所属長	山下 栄治				担当者（内線） 關 尚子（2157）				
根拠法令等	地方自治法								
事業開始年度	不明	直近の改正		無					
改正内容	無								
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	一般会計		
目標	予算外の支出又は予算超過の支出の際に充当できる財源を確保する。		
結果	不測の事態の発生で緊急に予算外の支出又は予算超過の支出を行わなければならない場合に速やかに予算の執行を行うことができる。		
事業概要	不測の事態の発生に伴って緊急に予算外の支出又は予算超過の支出を行わなければならない場合に備えて予備費を設ける。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
□ その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	30,000	0	30,000	0	30,000
人件費職員数(人)	0.22	0.00	0.10	0.00	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,798	0	806	0	795
総事業費(A+B)	31,798	0	30,806	0	30,795
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	31,798	0	30,806	0	30,795
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	31,798	0	30,806	0	30,795
財源計(G+D)	31,798	0	30,806	0	30,795

所属	企画財政室
事務事業番号	00080

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	予備費予算計上額	千円	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	30,000.00	30,000.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	予備費充当金額	千円	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	1,028.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 予備費として当初予算として3千万円確保していれば不測の事態にも一定対応できるため、事業費は概ね適正である。</p> <p>【今後の方向性】 地方自治法上、歳入歳出予算に計上しなければならないと規定されており、また、不測の事態に迅速に対応するためにも、今後も引き続き予備費の予算計上を行う。</p>

事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	予備費管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00080				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
評価点合計 (100点満点)	87	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	企画財政室	事務事業番号	00080
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(2)有効性 台風等自然災害による不測の事態に対応するための財源として一定金額を確保しておくことは必要であると考えており、今後も引き続き予備費の予算計上を行っていく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に係る特記事項)



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 5日  
14時28分42秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002010000	企画財政室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00081	上水道事業会計繰出事業							
章	08	基本計画推進のために							
節	04	計画的な行財政運営の推進							
細節	00								
予算事業	11440	01	04	03	01	01	01	01	上水道事業会計繰出事業（上水道費）
所属長	山下 栄治			担当者（内線）達協 俊介（2156）					
根拠法令等	地方財政法、地方公営企業法								
事業開始年度	不明	直近の改正			無				
改正内容	無								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	水道事業会計		
目標	水道事業の経営の安定を図るために、一般会計から繰出しを行う。		
結果	水道事業の経営の安定を図ることができる。		
事業概要	地方公営企業法及び地方公営企業繰出金についての総務省通知等に基づく経費について、一般会計から水道事業会計に繰出しを行う。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	8,220	0	8,392	1,082
人件費職員数(人)	0.00	0.11	0.00	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	0	869	0	806	795
総事業費(A+B)	0	9,089	0	9,198	1,877
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	0	9,089	0	9,198	1,877
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	9,089	0	9,198	1,877
財源計(C+D)	0	9,089	0	9,198	1,877

所属	企画財政室
事務事業番号	00081

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	繰出金額	千円	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	8,220.00	8,392.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.11	1.10	
			一般財源(千円)	1.11	1.10	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	水道事業会計貸借対照表剰余金合計額	千円	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。</p> <p>【今後の方向性】 今後の繰出金額については総務省通知に掲げられている繰出基準及び水道事業の経営状況等を考慮し、適正な金額となるよう担当課と協議を行っていく。</p>

## 事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	上水道事業会計繰出事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00081				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	77	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	企画財政室	事務事業番号	00081
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 平成29年度については、地方公営企業職員に係る児童手当に要する経費に対する繰出しのみで、地方公営企業繰出金についての総務省通知等に基づく繰出しである。</p> <p>(5)持続可能性 今後の繰出金額については水道事業の経営状況等も考慮し、担当課と協議を行っていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 7月17日  
14時12分13秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002010000	企画財政室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	01044	行財政改革推進事業							
章	08	基本計画推進のために							
節	04	計画的な行財政運営の推進							
細節	00								
予算事業	10026	01	02	01	01	09	01	01	行財政改革推進事業（一般管理費）
所属長	山下 栄治				担当者（内線）東（2126）				
根拠法令等	なし								
事業開始年度	平成10年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	市が行う事務事業		
目標	事務執行を効率的かつ適切に進めるための組織管理をさらに徹底していくとともに、多様化する業務の手法を検討し、業務に応じて最適な担い手を選択する仕組みを構築する。		
結果	限りある行政資源の中で、最も効率的に市民福祉の向上を達成することができる。		
事業概要	<p>指定管理者制度に関すること、アウトソーシング推進計画に関すること、外郭団体の在り方に関すること及びその他行政改革に係る施策に関することについて検討等を行い、市の事務の適切な執行を徹底するとともに、効果的かつ効率的で持続可能な行政運営を推進する。</p> <p>また、使用料等の定期的な見直しを図るとともに歳入確保策の検討に取り組む。</p>		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	2,157	1,794	2,378	1,706	2,299
人件費職員数(人)	2.30	2.30	2.30	2.30	2.30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	18,791	18,170	18,520	17,993	18,274
総事業費(A+B)	20,948	19,964	20,898	19,699	20,573
特定財源(C)	8	6	7	5	5
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	8	6	7	5	5
市負担(D)	20,940	19,958	20,891	20,221	20,568
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	20,940	19,958	20,891	20,221	20,568
財源計(C+D)	20,948	19,964	20,898	20,226	20,573

所属	企画財政室
事務事業番号	01044

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容		%	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	行財政改革の取組状況について管理及び検証を行いながら、必要な見直しを図る。	目標	効果的かつ効率的で持続可能な行政運営を推進する。
成果内容	限りある行政資源の中で、より効率的に市民福祉の向上を達成する。	達成状況	平成29年度は、外郭団体のあり方に関する指針を策定した。また、指定管理者制度についての運用指針等の見直しを行った。

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適正である。(理由:主に臨時雇用員の賃金であるため)</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、平成29年度は、「外郭団体の在り方についての見直し指針」を見直し、新たに「外郭団体のあり方に関する指針」を策定したことや、「指定管理者制度についての運用指針」や「指定管理者公募マニュアル」等を見直したことなど、一定の成果を上げており、事業費も適正であるため、継続すべきである。</p>		

## 事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	行財政改革推進事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01044				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
評価点合計 (100点満点)	85	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	企画財政室	事務事業番号	01044
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 市の事業を効果的かつ効率的に実施するためには、継続的な行財政改革が必要である。</p> <p>(2)有効性 継続的な組織管理、指定管理者制度の運用及び外郭団体のあり方に関する検討を通して行財政改革に取り組むことで、有効性は確保できていると考えている。今後も、将来を見据えた持続可能な行財政運営を目指した歳入増加や歳出削減策、柔軟で機能的な行政組織の確立に向けて検討していく必要がある。</p> <p>(3)効率性 事業費としては旅費や消耗品費程度しかなく、費用面からの評価は難しい。引き続き事務の改善に努め、業務の効率性を高めていきたい。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 5日  
14時29分01秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002010000	企画財政室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	01047	実施計画策定事業							
章	08	基本計画推進のために							
節	04	計画的な行財政運営の推進							
細節	00								
予算事業	10052	01	02	01	05	02	01	01	実施計画策定事業（企画費）
所属長	山下 栄治				担当者（内線）野田 裕也（2140）				
根拠法令等	吹田市第3次総合計画								
事業開始年度	昭和56年度	直近の改正	平成17年度						
改正内容	実施計画の計画期間を3か年から5か年に変更。								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他			
対象	吹田市第3次総合計画の基本計画において定めた施策			
目標	基本計画において定めた施策を効果的に実施する			
結果	吹田市第3次総合計画の実現			
事業概要	基本計画において定めた施策を効果的に実施するため、本市が取り組む具体的な事業に関して、5か年の実施計画を策定する。			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施			
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①		
		委託先②		
		委託先③		
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容		
		交付先①		
交付先②				
<input type="checkbox"/> その他	内容			

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	317	269	317	264	1,496
人件費職員数(人)	3.00	3.00	5.00	5.00	5.40
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	24,510	23,700	40,260	40,260	42,903
総事業費(A+B)	24,827	23,969	40,577	40,524	44,399
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	24,827	23,969	40,577	40,524	44,399
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	24,827	23,969	40,577	40,524	44,399
財源計(G+D)	24,827	23,969	40,577	40,524	44,399

所属	企画財政室
事務事業番号	01047

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	実施計画策定にあたっての査定事業数	事業	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	1,465.00	1,409.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	提出のあった全事業を査定するため目標設定にはなじまない。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	16.36	28.76	
			一般財源(千円)	16.36	28.76	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容	基本計画において定めた施策を効果的に実施する。	達成状況	適切な手続きを経て実施計画を策定することで施策の効果的な実施に寄与している。

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	
	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由: 事業費は主に冊子印刷に係る経費で、毎年必要部数を精査しているため。)</p> <p>【今後の方向性】 本事業は、第3次総合計画の実現に向け、基本計画において定めた施策を効果的に実施するために、必要不可欠なものである。 そのため、行政評価や新公会計制度を踏まえながら、引き続き、次年度以降の実施計画の策定を行っていく。</p>

## 事務事業分析シート

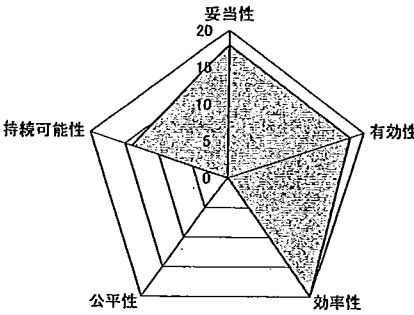
所属名	企画財政室	事業名	実施計画策定事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01047				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組みなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 総合計画の着実な推進のため、計画期間を5年とする実施計画を策定し、毎年度ローリングすることとしている。また、本事業は、政策・施策を効果的、効率的に推進するうえでの基本となるものであり、その重要度は大変高いものである。</p> <p>(3)効率性 平成28年度からは実施計画策定と予算編成の査定を同じ担当者が行うことにより、実施計画と予算の連動性をより高めることができ、効率性向上に寄与していると考え。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	総合計画啓発事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	山下 栄治

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成26年度		改正内容	なし										
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	なし(吹田市自治基本条例に策定義務と議決義務が規定されている。)													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04									
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他											
			範囲等	市民及び市職員											
		目標(どういう状態にしたいのか)	まちづくりを進めるための指針として、市民、事業者、行政が総合計画を共有する												
	結果(どのような効果が得られるのか)	市民、事業者、行政の協働によるまちづくりが進む													
(7)	事業概要	総合計画の普及のための市民説明会や、総合計画基本計画に基づいた実施計画を策定するための職員研修を行う。													
(8)	H28事業別予算コード	会計		款		項		目		大事業		中事業		小事業	
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)		平成30年度(2018年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		0	0	0	0	0							
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
			総額(B)	千円	0	0	0	0							
		総事業費(A+B)		0	0	0	0	0							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0							
			府		0	0	0	0							
			その他		0	0	0	0							
		市負担(D)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0							
その他			0	0	0	0									
一般財源			0	0	0	0									
財源計(C+D)		0	0	0	0	0									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00				
(3) が困難な場合	①	活動内容	平成31年度からの10年間を計画期間とする第4次総合計画の策定に係る取組を進める中で、説明会等に用いる資料作成に必要な各種データや情報の整理に努める。		目標	まちづくりを進めるための指針として、市民、事業者、行政が総合計画を共有できるよう、普及啓発の取組に向けた準備を進める。		
	②	成果内容	総合計画の普及・啓発に関する取組については、第4次総合計画の策定後に行うべく、引続き、策定過程も踏まえながら内部で検討を進めていく。		達成状況	第3次総合計画の成果や課題の整理、市民意見の聴取、基本計画(素案)の作成等から、市民啓発等に用いる情報の整理に努めた。		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>【事業費等の評価】 現時点において本事業は予算措置を伴っていないため、他市等との定期的な事業費の比較・分析を行う状況にはない。</p> <p>【今後の方向性】 総合計画の普及・啓発に向けた市民や職員への啓発等に関する取組については、平成31年度からの10年間を計画期間とする第4次総合計画の策定後に行うこととしている。 第4次総合計画の啓発に向けた取組を進めるに当たっては、計画当たりの策定過程を踏まえた上での検討が必要であり、また、啓発等に用いる資料の作成に必要なデータや情報の整理についても、逐次行っていく必要がある。平成29年度においては、第3次総合計画の成果や課題の整理、市民意見の聴取を行うとともに、第4次総合計画基本計画(素案)を作成、また、基本構想(素案)・基本計画(素案)に対する市民説明会の開催など、第4次総合計画策定の取組を進める中で、啓発等に用いる資料の基礎となる情報の整理に努めてきた。 今後も引き続き、同計画の策定に向けた取組と並行して、啓発に向けた取組について内部で検討を進めていく必要がある。</p>					

## 事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	総合計画啓発事業	事業区分	その他
事務事業番号	01048				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		c. 定量的な指標設定ができておらず、目標や達成状況の分析も十分できていない。(1点)	1	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
評価点合計 (100点満点)	72	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	企画財政室	事務事業番号	01048
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>総合計画の普及・啓発に向けた取組については、第4次総合計画の策定後に行うこととしている。引続き、同計画の策定に向けた取組と並行して、啓発に向けた取組について内部で検討を進めていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

第3次総合計画の策定以降、東日本大震災の発生や経済情勢の長引く低迷などが市民生活にも影響を及ぼし、社会経済状況及び市民ニーズの変化を捉えた対応が各分野において必要となってきている。さらに、団塊の世代が後期高齢者(75歳以上)へ移行する、いわゆる2025年問題など、国全体でますます進展する少子高齢化を見据えた施策の実施が喫緊の課題となっている。また、本市においては、北大阪健康医療都市(健都)における健康・医療のまちづくりなど、都市としての魅力を向上させる新たな取組が進んでいる。このような状況の中、今後のまちづくりの指針として、速やかに将来を見据えた新たな総合計画を策定する必要がある。



# 事務事業評価（確認書）

1 頁  
平成30年 8月22日  
10時52分34秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002010000	企画財政室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	01050	地方版総合戦略策定・推進事業							
章	08	基本計画推進のために							
節	04	計画的な行財政運営の推進							
細節	00								
予算事業	11610	01	02	01	05	02	03	01	地方版総合戦略策定・推進事業（企画費）
所属長	山下 栄治				担当者（内線）東（2126）				
根拠法令等	まち・ひと・しごと創生法								
事業開始年度	平成26年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標を達成するために講ずべき施策		
目標	基本目標、基本的方向に沿う具体的な施策と重要業績評価指数（KPI）を設定した吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略について、効果的な施策の推進を図る。		
結果	人口減少・超高齢社会においても持続可能なまちづくりを実現する。		
事業概要	<p>本市の人口の現状と将来の展望を示す人口ビジョンの内容を踏まえて、地方創生を推進するため、平成27年度（2015年度）から5か年の目標や施策の基本的方向を定めた「吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成28年（2016年）3月に策定した。</p> <p>平成28年度以降は、各施策の効果を客観的に検証するために設定した重要業績評価指数（KPI）を基に、PDCAサイクルに沿って改善をしながら総合戦略の推進を図る。なお、効果検証などについては、外部有識者等を含む会議において意見聴取を行う。</p>		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	77	51	77	43	77
人件費職員数(人)	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	3,268	3,160	3,221	3,130	3,178
総事業費(A+B)	3,345	3,211	3,298	3,173	3,255
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	3,345	3,211	3,298	3,173	3,255
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	3,345	3,211	3,298	3,173	3,255
財源計(G+D)	3,345	3,211	3,298	3,173	3,255

所属	企画財政室
事務事業番号	01050

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	吹田市まち・ひと・しごと創生推進委員会開催回数	回	目標値	1.00	1.00	1.00
			実績値	1.00	1.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	年1回開催	単位当たりコスト	総事業費(千円)	3,211.00	3,173.00	
			一般財源(千円)	3,211.00	3,173.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略検討会議開催回数	回	目標値	1.00	1.00	1.00
			実績値	1.00	1.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	年1回開催	単位当たりコスト	総事業費(千円)	3,211.00	3,173.00	
			一般財源(千円)	3,211.00	3,173.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	総合戦略に定めた4つの基本目標に掲げる施策の実施割合の平均	%	目標値	100.00	100.00	100.00
			実績値	78.80	86.36	
			達成度(%)	78.80	86.40	
目標値の積算方法	全施策の実施割合の平均(取組やKPIが前進を100、強化やKPIが後退を50、検討中・未着手を0として割合の平均を積算)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	40.75	36.74	
			一般財源(千円)	40.75	36.74	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適正である。(理由:本戦略の検証について、客観性や透明性を確保するとともに、多様な意見を反映させるため設置する会議の外部有識者等の報償費のため)</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする成果が出ており、事業費も適正であるため、継続することが妥当である。 引き続き、本戦略に基づく取組を推進し、その効果を検証しながら、進行管理を行っていく。</p>

事務事業分析シート

2018/7/17 14:11

所属名	企画財政室	事業名	地方版総合戦略策定・推進事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01050				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	77	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	企画財政室	事務事業番号	01050
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 平成28年3月に策定した「吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、所管部局において取組を進めており、今後も継続する必要がある。</p> <p>(2)有効性 本戦略は、毎年度効果を検証し、改善を行うことで有効性が高まると考えている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

本市においては、人口が増加傾向にあるが、中長期的には減少が予想されるため、国、大阪府並びに他の自治体と連携しながら、本戦略に基づく取組を引き続き推進していく必要がある。

なお、本戦略に定めた施策については、交付金を始めとした国の財政的支援等が得られる可能性があるが、対象となる条件が本市の施策に合致しない状況である。

事務事業評価調書

事務事業名	総合計画策定事業				
担当部署	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	山下 栄治

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成27年度	改正内容	なし				
(2) 直近の改正	なし						
(3) 根拠法令等	吹田市自治基本条例、吹田市議会の議決すべき事件に関する条例						
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり) <input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり) 一部にチェックした場合はその説明						
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために				
			節				
			04				
			細節				
			00				
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input type="checkbox"/> その他				
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市総合計画				
	結果(どのような効果が得られるのか)	平成31年度(2019年度)から平成40年度(2028年度)までの今後10年間のまちづくりの指針として、将来を見据えた新たな総合計画を策定する。 市民と行政が共有できる市政運営上の基本的な指針として第4次総合計画を策定し、同計画に基づいて総合的かつ計画的に行政運営を行うことで、持続可能なまちづくりを進めることができる。					
(7) 事業概要	第3次総合計画(以下「現計画」という。)は、東日本大震災以前に策定したものであり、市民の防災等に対する意識の変化や進展する高齢化など、社会経済状況に応じて今日的な見直しを行い、将来を見据えた新たな総合計画を策定する必要があるため、現計画の目標年度である平成32年度(2020年度)を前に、平成31年度(2019年度)を計画始期とする「第4次総合計画」を策定する。						
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款				
			02				
			項				
			01				
			目				
			05				
			大				
			02				
			中				
			02				
			小				
			01				
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)		平成30年度(2018年度)
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
	事業費(A)		24,057	16,177	20,306	9,327	4,581
	人件費	職員数	7.00	5.00	6.00	6.00	6.00
		総額(B)	57,190	39,500	48,312	47,400	47,670
	総事業費(A+B)		81,247	55,677	68,618	56,727	52,251
	特定財源(C)		0	0	0	0	0
	(内訳)	国	0	0	0	0	0
		府	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	市負担(D)		81,247	55,677	68,618	56,727	52,251
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源		81,247	55,677	68,618	56,727	52,251	
財源計(C+D)		81,247	55,677	68,618	56,727	52,251	
(10) 実施方法(該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施						
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	三菱UFJリサーチ&コンサルティング㈱大阪			
			②				
	主な委託内容		③	吹田市第4次総合計画策定支援業務			
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①				
②							
③							
<input type="checkbox"/> その他	内容						

2 評価の指標等

指標項目		項目		平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	
(1) 活動指標	① 指標内容	市民ワークショップ参加人数の合計	目標値 (単位:人)	400.00	140.00	/	
			実績値 (単位:人)	144.00	88.00		
			達成度(%)	36.0	62.9		
	② 目標値の積算方法	市民ワークショップ定員人数の合計	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	112.34	105.99	/
				一般財源(単位:千円)	112.34	105.99	
			達成度(%)	0.0	0.0		
(2) 成果指標	① 指標内容	総合計画審議会(全体会・部会)開催回数の合計	目標値 (単位:回)	0.00	0.00	/	
			実績値 (単位:回)	10.00	14.00		
			達成度(%)	0.0	0.0		
	② 目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまないため設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1,617.70	666.21	/
				一般財源(単位:千円)	1,617.70	666.21	
			達成度(%)	0.0	0.0		
(3) が困難な場合	① 活動内容	総合計画審議会において市民意見や総合計画検討特別委員会の意見を踏まえた審議が円滑に進められるよう、事務局として、市民説明会や市民意見募集等の実施により市民意見の把握に努めるとともに、庁内での調整や同特別委員会からの意見をとりまとめ、審議に必要となる資料の作成等を進める。	目標	第4次総合計画の策定に向け、市民意見を踏まえ、審議会にて基本構想(素案)・基本計画(素案)全体のとりまとめまでの審議を進め、答申を受ける。			
		② 成果内容	第4次総合計画を策定することで、総合的かつ計画的な行政運営を行うことができ、持続可能なまちづくりが進められる。	達成状況	審議会では基本構想(素案)・基本計画(素案)全体のとりまとめに向けた審議が行われたが、最終のとりまとめ及び答申は、平成30年度に行うことになった。		
	(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定				
		評価の説明	<p>【事業費等の評価】          総合計画審議会や市議会の総合計画検討特別委員会からの意見を踏まえた検討を進めるに当たり、庁内での調整・検討期間を十分に確保する必要が生じたことから、策定期間を平成29年度(2017年度)中から平成30年度(2018年度)中に延長するとともに、第4次総合計画(案)の市議会への提案時期を平成30年9月定例会に変更した。これに伴い、平成30年度についても職員の配置及び人件費の対応が必要である。</p> <p>【今後の方向性】          第4次総合計画は平成30年度中に策定を完了する予定としているが、策定後も、必要に応じて同計画の基本計画を見直すことや、次期総合計画の策定についての検討が必要となるため、今後も本事業は継続すべきと考える。なお、策定後の市民周知等の取組については、総合計画啓発事業において進めていく予定である。          策定の取組に関しては、平成30年6月に総合計画審議会から第4次総合計画基本構想(素案)・基本計画(素案)の答申を受け、その後、6月中旬～7月中旬までパブリックコメントを実施。そこでの意見を考慮の上、行政として第4次総合計画(案)の取りまとめを行い、市議会9月定例会に同計画(案)を提案する予定。市議会において第4次総合計画の承認が得られれば、計画冊子作成等の取組を進め、平成31年(2019年)2月を目途に、市民フォーラムを開催する予定である。</p>				

## 事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	総合計画策定事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01493				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5 点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5 点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5 点	
(2) 有効性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3 点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3 点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5 点	
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3 点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5 点	
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5 点	
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5 点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5 点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3 点	
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		内部管理	点	
		②サービスの水準は適正ですか。		
		内部管理	点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		内部管理	点	
(5) 持続可能性 (20点)	16	④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		内部管理	点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5 点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5 点	
評価点合計 (100点満点)	85	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3 点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3 点	
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	企画財政室	事務事業番号	01493
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

第4次総合計画については、平成28年度(2016年度)からの2か年で策定するものとして、総合計画審議会における審議をはじめ、庁内での策定作業や市民参画の取組を行う等、様々な取組を精力的に進めながら検討を重ねてきた。一方で、より熟度を増した計画とするため、策定に係る検討期間を十分に確保する必要性が生じたことから、平成29年(2017年)9月に検討スケジュールの変更を行い、策定期間を平成30年度(2018年度)中に延長するとともに、第4次総合計画(案)の市議会への提案時期を平成30年9月定例会に変更した。また、同計画の計画期間については、平成31年度(2019年度)からの10年間に変更した。これにより、平成30年度も引き続き、同計画の策定に向けて取組を進めていく必要がある。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成29年度(2017年度)においては、審議会における審議をはじめ、庁内での策定作業に係る取組を進めるとともに、市民ワークショップや市民説明会等の実施により、広く市民意見の聴取に努めてきた。策定期間については、平成30年度(2018年度)中に延長するとともに、第4次総合計画(案)の市議会への提案時期を平成30年9月定例会に変更した。</p> <p>平成30年度(2018年度)には、総合計画審議会から第4次総合計画基本構想(素案)・基本計画(素案)の答申を受け、その後、市民意見を考慮のうえ、行政として第4次総合計画(案)のとりまとめを行い、平成30年9月定例会には議案として提案するべく、これまで以上に効率的に策定作業を進めていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に係る特記事項)

3次総合計画の策定以降、東日本大震災の発生や経済情勢の長引く低迷などが市民生活にも影響を及ぼし、社会経済状況及び市民ニーズの変化を捉えた対応が各分野において必要となってきた。さらに、団塊の世代が後期高齢者(75歳以上)へ移行する、いわゆる2025年問題など、国全体でますます進展する少子高齢化を見据えた施策の実施が喫緊の課題となっている。また、本市においては、北大阪健康医療都市(健都)における健康・医療のまちづくりなど、都市としての魅力を向上させる新たな取り組みが進んでいる。このような状況の中、今後のまちづくりの指針として、速やかに将来を見据えた新たな総合計画を策定する必要がある。



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 7月13日  
14時03分29秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0002010000	企画財政室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	01516	総合教育会議運営事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	00								
細節	00								
予算事業	11682	01	02	01	05	05	01	01	総合教育会議運営事業（企画費）
所属長	生駒 靖子			担当者（内線）曾我 明史（45-669-213）					
根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律								
事業開始年度	平成27年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	市長、教育委員会		
目標	市長と教育委員会が、総合教育会議を通じて十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有し、教育行政の推進を図る。		
結果	相互の連携が深まり、効果的に教育に関する施策を進めることにつながる。		
事業概要	教育に関する予算の編成・執行や条例提案など重要な権限を有する市長と教育委員会とが、十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有して、教育行政の推進を図ることを目的に、市長が会議を招集し、原則公開の会議を開催します。必要に応じて関係者又は学識経験者から意見を聴取することができます。会議において協議・調整の行われた事項はその結果を尊重することとされています。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	17	0	19	2	17
人件費職員数(人)	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	3,268	3,160	3,221	3,130	3,178
総事業費(A+B)	3,285	3,160	3,240	3,132	3,195
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	3,285	3,160	3,240	3,132	3,195
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	3,285	3,160	3,240	3,132	3,195
財源計(G+D)	3,285	3,160	3,240	3,132	3,195

所属	企画財政室
事務事業番号	01516

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	会議の開催。	目標	市長と教育委員会とが、施策の方向性を共有し、教育行政の推進を図る。
成果内容	総合教育会議において、協議され合議を得た結果について、教育行政に反映し、教育施策の推進が図られること。	達成状況	市長と教育委員会との間で適切に情報共有が行われている。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は会議の開催に伴う必要経費のため、適切である。</p> <p>【今後の方向性】 本事業は地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4に基づく事業であることから、市と教育委員会が連携しながら教育行政の推進を図るために今後も継続して実施する必要がある。</p>

## 事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	総合教育会議運営事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01516				

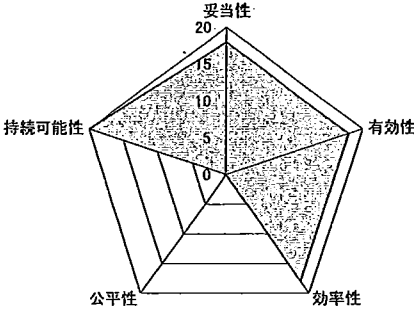
## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
内部管理	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
内部管理	点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	企画財政室	事務事業番号	01516
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 本事業は平成27年4月に改正施行された地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4に基づく事業であり、様々な教育の課題について協議を重ねています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調査

事務事業名	下水道事業会計負担金事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	山下 栄治

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明	改正内容	無					
(2) 直近の改正	無							
(3) 根拠法令等	地方財政法、地方公営企業法							
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)					
	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)							
	一部にチェックした場合はその説明							
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために					
			節					
			04					
			細節					
			00					
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input type="checkbox"/> その他					
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	下水道事業会計					
	結果(どのような効果が得られるのか)	下水道事業に係る経費のうち、雨水処理に要する経費等について一般会計が負担する。						
(7) 事業概要	下水道事業に係る経費のうち、雨水処理に要する経費等について一般会計が負担する。							
(8) H29事業別予算コード	会計	01	款					
			08					
			項					
			05					
			目					
			17					
			大事業					
			01					
			中事業					
			01					
			小事業					
			01					
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)		平成30年度(2018年度)	
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
	事業費(A)		3,496,005	3,452,732	3,373,661	3,181,724	3,247,554	
	人件費	職員数	人	0.11	0.11	0.10	0.10	0.10
		総額(B)	千円	899	899	806	806	795
	総事業費(A+B)		3,496,904	3,453,631	3,374,467	3,182,530	3,248,349	
	特定財源(C)		0	0	0	0	0	
	(内訳)	国	0	0	0	0	0	
		府	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	市負担(D)		3,496,904	3,453,631	3,374,467	3,182,530	3,248,349	
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
一般財源		3,496,904	3,453,631	3,374,467	3,182,530	3,248,349		
財源計(C+D)		3,496,904	3,453,631	3,374,467	3,182,530	3,248,349		
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
		主な委託内容	②					
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	③					
		内容						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 負担金額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:千円)	3,452,732.00	3,181,723.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1.00	1.00	/
				一般財源(単位:千円)		1.00	1.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	/	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	/
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	/	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。</p> <p>【今後の方向性】 今後も下水道事業に係る経費の一部を負担する。</p> <p>【その他】 平成28年度分は下水道特別会計繰出事業の数値を記載。</p>					

# 事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	下水道事業会計負担金事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01811				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	企画財政室	事務事業番号	01811
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 平成28年度まで下水道特別会計繰出事業として実施してきた事業について、平成29年度からは地方公営企業法の一部適用により、下水道事業会計負担金事業として下水道事業会計に係る運営経費の一部を負担していく。</p> <p>(5)持続可能性 今後の負担金額については下水道事業の経営状況等も考慮し、担当課と協議を行っていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--